



漢字検定受験 7/13 今回は、2級が1名、準2級が2名、3級が5名など2級から8級までの23名が受験



熱中症予防も含め暑いので麦茶を用意しました。



夏期講座で勉強するみんなの様子



『夏期講座スタート』

7月の終わりになってやっと夏らしい日が続きます、
 釧路にも短い夏がやってきました。すでに夏期講座
 が始まっていますが、夏休みはのんびり楽しく過ご
 すためにあるわけではありません。新指導要領のス
 タートした今年の夏休みの勉強は今まで以上に大切
 なものになります。特に、受験生の皆さんは入試に向
 けた基礎作りの学習を目標を持って一つ一つ丁寧に
 取り組みましょう。

先日行われた釧路高専のオープンスクールに
 は、600名程の親子が参加しました。今までにな
 い現象です。来年度から公立高校と高専、両方の受
 験が可能になることも合わせ、倍率が高くなること
 が予想されます。そして江南高校では湖陵高校と同
 様に裁量問題が採用されます。9月からのA・B・
 C学力テストに向けた学習に取り組むことも大切で
 す。夏休みから受験勉強はスタートするのです。

新中一生成は中学校の授業が始まって4ヶ月あまり
 が過ぎました。特に数学、英語は、今学習している
 ことが3年間の基礎となる、とても重要なところで
 す。学習内容だけではなく、学習の取り組み方や姿
 勢で結果が決まります。また、部活との両立が出来
 なければ、部活そのものも意味のないものになりま
 す。あくまでも部活は教育の一環です。部活だけ熱
 心、そんな状況が釧路の学力低迷の原因です。部活
 だけ出来ても、勉強だけ出来ても社会で必要とされ
 る大人にはなれないのです。中学、高校、合わせた
 6年間が人生の方向に大きく影響します。そのスタ
 ートに立った一年生の皆さん、このことを忘れず、
 時間を無駄にしないように取り組みましょう。
 当然ですが中学二年生も同じです。来年は受験生
 ですから志望校を決め、それに向かってのスタート
 が夏休みの学習です。先月号にも書きましたが、来
 年度以降の北海道の入試は激変すると言われていま
 す。学校にはそんな意識が感じられません。公立の

学校では相変わらず短縮授業や午前授業、休みが今
 までと同じようにあり、私学との差に驚きます。そ
 の差は自分の将来に大きく影響します。自ら課題を
 見つけ、今出来る事、今やらなければならぬこと
 に積極的に取り組みましょう。
 最後に鶴居中学校の斗内君の通知表に書かれた先
 生のコメントからです。「自分自身がどのように学
 習に取り組むかという姿勢に変化が見られ、学習面
 ではしっかりと力を伸ばしています。コンクールま
 では全力で練習に取り組み、コンクール終了後は、
 新たに生み出された時間を有効に使い、希望進路を
 現実にするため努力してほしいと願っています。」
 暑い日が続いていますが頑張りましょう。

『いじめ問題…』

大津市の「いじめによる自殺」が大変大きな問題
 となっています。これに関して生徒に聞いてみま
 した。

少なくとも塾に通っている生徒の学校（中学校
 7校）では、どの学年もこのことに触れていま
 せんでした。いじめに関して考える、取り組む大き
 なきっかけになるはずなのにです。釧路の教育委
 員会は率先していじめに関するアンケート調査を
 行うべきでは。大津市の教育委員会の対応が問題
 になっていますが、釧路の教育委員会も何も変わ
 らないのです。建前論ではいじめ問題は解決しな
 いのです。いじめの側には厳罰が必要で、いじめ
 られる生徒にも抵抗する意思や力を身につけるこ
 とが必要です。なぜなら社会に出るとき誰も助け
 てくれないからです。日頃から「生きる力」を身
 につける訓練することです。過保護ではダメなの
 です。大人が本音で考え、本気で対応しなければ「
 いじめ問題」の解決はないと考えます。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
						★数学検定(10名受験)									◆通常授業スタート◆					★中一・中二学力コンクール					夏期講座	休塾				夏期講座

学力コンクール、中学生は昼食が必要です。10
 日は3年生が休塾。11日は1・2年生が休塾です。

8月の予定

■ 気にかけてください ■

つむぎNEWS 7/26より

全国学力・学習状況調査に「生活習慣」と「学力」についての報告書があります。

① 朝ごはんを食べている人と食べていない人の学力差

	小学生の平均学力	中学生の平均学力
いつも食べる	60.5点	61.3点
あまり食べない	39.6点	41.7点

朝ごはんを食べている、食べていないで平均点が約20点も差があるのは驚きです。なぜ朝食を食べないのでしょうか、用意してもらえていないのでしょうか、それとも夜更かしをして朝起きられないのでしょうか、どうなのでしょう？

② 宿題をやる子とやらない子の学力差

	小学生の平均学力	中学生の平均学力
必ずやる	60.1点	64.0点
あまりやらない	36.8点	46.4点

宿題を必ずやることの重要性が理解できます。

「朝ごはん」「宿題」とともに小さいときから親に気にかけてもらうことが大切です。かまひ過ぎる親も問題ですが、かまわない、無関心な親はもっと大きな問題です。

③ 人の気持ちが分かる人間に「なりたい・なりたくない」と答えた子どもとの学力差

	小学生の平均学力	中学生の平均学力
なりたい	60.2点	59.5点
なりたくない	47.4点	36.8点

小学生の学力差は約13点ですが、中学生になるとその差は約23点に広がっています。人の気持ちが分かる人間になりたくないと答えた子ども達の今の心の状態は…。きっと心が疲弊しているのではないのでしょうか？とても心が痛みます。今までどんな環境で教育を受けてきたのか、今後どういった環境で育っていくのか心配です。

子どもには健全な家庭が必要です。保護者の方々にもいろんな事情はあると思いますが、朝ごはんの用意、子供の様子などの気配りをお願いします。また、良いことがあれば一緒に喜び、ほめることです。悪いことしたら叱ること、責任を取らせる事も大切です。

子どもの様子に気を配っていれば、子供がいじめに遭っていることに気がつかないはずはないと確信します。複雑な社会の中でも単純なことをやればよいのだと思います。

新人教員の病気退職増 10年前の20倍…精神疾患9割

MSN産経ニュース 2011.11.8より

全国の公立学校に勤務する1年目の新人教員のうち、病気を理由に依願退職した人数が平成22年度は101人にのぼり、10年前の20倍に増加したことが8日、文部科学省が公表した調査結果で分かった。このうち9割は精神疾患を理由としていた。夢をかなえて希望の職に就いても上司や保護者との関係、子供の指導に悩んで心を痛めて教壇を去っていく教員の姿が浮き彫りとなった。

地方公務員は民間企業の試用期間にあたる条件付き採用期間を6カ月間設けているが、教員の場合は1年間と長く、文科省はこの間の教員を対象に調査した。

調査結果によると、22年度に全国の公立学校に採用された教員は2万5743人。全採用数の1.1%に当たる288人が、1年以内に依願退職していた。12年度の依願退職者数は33人で、10年で8.7倍に増加したことになる。

このうち病気を理由に退職した人数は12年度の5人から年々増加し、19年度の103人をピークに高止まりしている状態。病気のうち精神疾患については21年度から調査を開始。21年度は86人中83人、22年度は101人中91人で、病気退職者の大半は精神を患ったものだった。

団塊世代の大量退職に伴う採用増で10年前に比べ、全採用数が2倍以上となっていることを考慮しても多く、文科省の担当者は「仕事の量や保護者対応などイメージとのギャップがあるのだろう。職場での人間関係の希薄さも背景にある」と分析している。

学校の先生は精神疾患、若者は「現代うつ病」(仕事場だけでうつの症状がでる)これも、建前論や過保護の影響によるものと思われる。簡単な解決法はないのかもしれませんが、若者一人一人が責任感や忍耐力を身につけて社会に出て行かなければ、理不尽な社会に対応することは不可能です。「生きる力」をつけさせるのが大人の使命です。

中学生の7割睡眠に問題

YOMIURI ONLINE 6/25より

歯ぎしり、いびきや目覚めた時の機嫌の悪さなど睡眠に関する何らかの問題を抱える子どもは、中学生で約7割にのぼることが厚生労働省研究班(分担研究者=三島和夫国立精神・神経医療研究センター部長)の調査で明らかになった。

朝の目覚めの悪さも目立ち、背景には夜更かし傾向があるものとみられる。28日から横浜市で開かれる日本睡眠学会で発表する。

研究班は2009年12月、北海道、秋田、富山、長野、埼玉など全国10道県の148小学校、71中学校に調査票を郵送し、10年4月に回収した児童生徒2万5211人のデータを分析した。歯ぎしり、いびき・呼吸停止、目覚めの機嫌が悪いといった23項目のいずれかについて、あてはまる頻度を保護者に尋ねたところ、週2回以上と回答したのは小学生で59.4%、中学生では69.3%に上った。週5~7日は小学生で29.1%、中学生では36.6%だった。

中でも、「目が覚めた時に機嫌が悪い」、「起床からなかなか起き出せない」など、朝の目覚めに関する5項目のいずれかが週2回以上みられるのは、小学生の42.0%、中学生の43.3%。就寝時間が午後10時以降の小学生は35.6%、中学生は94.0%だった。

◆ 大阪大学の「カルト対策」 ◆

大阪大学はたった一日の講義を必修としている。このたった一日の授業は「カルト対策」「麻薬問題」「交通マナー」だ。大阪大学と言えば旧七帝大のひとつで、東大・京大に次ぐ最難関大学だ。その難関大学でカルト対策だの麻薬問題だの交通マナーだのを必修科目にしているが、講義の名前は「大学生生活環境論」という。

これは2006年に大きな社会問題となった韓国のカルト宗教「摂理」対策として開講したものだ。

以下、本に紹介されているそのままです。

「カルト宗教に引っかけられないのは、悪事をしたい、自分のことしか考えられない、正義感がない学生。つまり大阪大生なら誰でもひっかかる可能性があります。」

大和谷厚・大阪大教授の話に聴講している1年生は全員爆笑。

「ダミーサークルは学生が図書館本館や食堂で一人のときに話しかけてくる」という具体的な話には苦笑が起こった。

というようになっているが、カルトにせよ麻薬にせよ、おかしいと思える通常の判断力があり、おかしいということを誰かに相談するなどということをしていれば何ら問題は起きないと思える。

麻薬なんて、大阪大学に入る学力があれば、手を出してはいけないという判断力が備わっているはずだ。交通マナーなんて、横断歩道を手を挙げて渡った小学生のころを思い出せば良いだろう。今の学生にはそこまで教えなければならないのだとすると愕然とする。これも過保護に育った影響なのでは。

根室「育英塾だより」から

先日、ひょっこりと卒業生が顔を出しました。小樽商科大学4年生の学生です。夏休みにはまだ早いで、就職決定報告だとピンと来ましたが、ある大手の証券会社に決まったとのことでした。小樽商科大学は本州方面の企業にも就職状況は良いとのことでしたが、やはり、普段、中高生にも言っているのですが、「変なヤツ」はなかなか就職が決まらないそうです。

ここでいう変なヤツというのは、普通のことを普通にこなすことが出来ないヤツということです。質問されてもきちんと答えられない、相手の目を見て話さない、挨拶をきちんとできないなど、人として極めて当然のことができないヤツということです。

証券業界というのは人の出入りが非常に激しい世界で、野村証券や大和証券などは毎年1000人ほど採用しています。それだけ仕事ハードでやめる人が多いということです。卒業生の彼はそのことを分かった上で就職することを決めましたが、在職中にしっかりとスキルを身につけると、頼もしい言葉を残していきました。

育英塾の卒業生の話ですが、このことは誰もが分かっている当たり前のことですが、それをできない生徒や学生を作り出しているのは大人の社会の責任です。就職できない理由は学力よりも人間力に問題があるからです。普通のことを、普通に出来るようになることは、難しい事ではありません。要は日常の心掛けなのです。